

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成25年10月17日 (2013.10.17)

【公表番号】特表2013-504600(P2013-504600A)

【公表日】平成25年2月7日 (2013.2.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-007

【出願番号】特願2012-529004(P2012-529004)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/02 (2006.01)

A 6 1 K 39/12 (2006.01)

A 6 1 K 39/002 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 33/00 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 39/39

A 6 1 K 39/00 G

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 39/02

A 6 1 K 39/12

A 6 1 K 39/002

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 33/00

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 43/00 1 2 1

C 1 2 N 15/00 Z N A A

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月2日 (2013.9.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

免疫原をコードする、単離された核酸分子と、

I L - 1 5 R 又はその機能性断片をコードする、単離された核酸分子とを含む組成物

【請求項 2】

前記免疫原が、病原体抗原、癌関連抗原、又は自己免疫疾患に関与する細胞に関連する抗原のいずれかである請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記免疫原が、慢性感染症を引き起こす病原体に由来する病原体抗原である請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

IL - 15 R をコードする前記単離された核酸分子は、SEQ ID NO : 1 に記載の配列を有する IL - 15 R a をコードする核酸コード配列を含む請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 5】

IL - 15 又はその機能性断片をコードする核酸配列をさらに含む請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 6】

前記核酸分子がプラスミドである請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載の組成物を含む、注入可能な医薬組成物。

【請求項 8】

個体において免疫原に対する免疫応答を誘発するための、請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項 に記載の組成物。

【請求項 9】

調節エレメントに機能可能に結合された免疫原をコードするヌクレオチド配列と、

IL - 15 R 又はその機能性断片をコードするヌクレオチド配列とを含む、組換え体ワクチン。

【請求項 10】

前記免疫原が、病原体抗原、癌関連抗原、又は自己免疫疾患に関与する細胞に関連する抗原のいずれかである請求項 9 に記載の組換え体ワクチン。

【請求項 11】

前記免疫原が、慢性感染症を引き起こす病原体に由来する病原体抗原である請求項 10 に記載の組換え体ワクチン。

【請求項 12】

IL - 15 R をコードする前記ヌクレオチド配列は、SEQ ID NO : 1 に記載の配列を有する IL - 15 R a をコードする核酸コード配列を含む請求項 9 乃至 11 のいずれかに記載の組換え体ワクチン。

【請求項 13】

IL - 15 又はその機能性断片をコードする核酸配列をさらに含む請求項 9 乃至 12 のいずれかに記載の組換え体ワクチン。

【請求項 14】

個体において免疫原に対する免疫応答を誘発するための、請求項 9 乃至 13 のいずれかに記載の組換え体ワクチン。

【請求項 15】

IL - 15 R 又はその機能性断片をコードするヌクレオチド配列を含む、弱毒化生病原体。

【請求項 16】

前記病原体が、慢性感染症を引き起こす病原体の弱毒株である請求項 15 に記載の弱毒化生病原体。

【請求項 17】

IL - 15 R をコードする前記ヌクレオチド配列が SEQ ID NO : 1 の配列である請求項 15 および 16 のいずれかに記載の弱毒化生病原体。

【請求項 18】

IL - 15 又はその機能性断片をコードする核酸配列をさらに含む請求項 15 乃至 17 のいずれかに記載の弱毒化生病原体。

【請求項 19】

個体において免疫原に対する免疫応答を誘発するための組成物であって、請求項 15 乃至 18 のいずれかに記載の弱毒化生病原体を含む、組成物。

【請求項 20】

SEQ ID NO: 1 の配列、又は IL - 15 R 免疫調節機能、IL - 15 結合機能、IL - 15 受容体複合体の他のサブユニットへの結合機能、もしくはそれらの組合せの機能を有するその断片を含む、核酸分子。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

本発明はさらに、IL - 15 R a またはその機能性断片をコードするヌクレオチド配列を含む弱毒化生ワクチン、およびその弱毒化生ワクチンを個体に対して投与する工程を含む、個体において病原体に対する免疫応答を誘発する方法に関する。

特定の実施形態では、例えば以下が提供される：

(項目 1)

免疫原をコードする、単離された核酸分子と、

IL - 15 R 又はその機能性断片をコードする、単離された核酸分子とを含む組成物。

(項目 2)

前記免疫原が、病原体抗原、癌関連抗原、又は自己免疫疾患に関連する抗原のいずれかである項目 1 に記載の組成物。

(項目 3)

前記免疫原が、慢性感染症を引き起こす病原体に由来する病原体抗原である項目 2 に記載の組成物。

(項目 4)

IL - 15 R をコードする前記単離された核酸分子は、SEQ ID NO: 1 に記載の配列を有する IL - 15 R a をコードする核酸コード配列を含む項目 1 乃至 3 のいずれかに記載の組成物。

(項目 5)

IL - 15 又はその機能性断片をコードする核酸配列をさらに含む項目 1 乃至 4 のいずれかに記載の組成物。

(項目 6)

前記核酸分子がプラスミドである項目 1 乃至 5 のいずれかに記載の組成物。

(項目 7)

項目 1 乃至 6 のいずれかに記載の組成物を含む、注入可能な医薬組成物。

(項目 8)

個体において免疫原に対する免疫応答を誘発する方法であって、

項目 1 乃至 7 のいずれかに記載の組成物を個体に対して投与する工程を含む、方法。

(項目 9)

調節エレメントに機能可能に結合された免疫原をコードするヌクレオチド配列と、

IL - 15 R 又はその機能性断片をコードするヌクレオチド配列とを含む、組換え体ワクチン。

(項目 10)

前記免疫原が、病原体抗原、癌関連抗原、又は自己免疫疾患に関連する細胞に関連する抗原のいずれかである項目 9 に記載の組換え体ワクチン。

(項目 1 1)

前記免疫原が、慢性感染症を引き起こす病原体に由来する病原体抗原である項目 1 0 に記載の組換え体ワクチン。

(項目 1 2)

I L - 1 5 R をコードする前記単離された核酸分子は、S E Q I D N O : 1 に記載の配列を有する I L - 1 5 R a をコードする核酸コード配列を含む項目 9 乃至 1 1 のいずれかに記載に組換え体ワクチン。

(項目 1 3)

I L - 1 5 又はその機能性断片をコードする核酸配列をさらに含む項目 9 乃至 1 2 のいずれかに記載の組換え体ワクチン。

(項目 1 4)

個体において免疫原に対する免疫応答を誘発する方法であって、
項目 9 乃至 1 3 のいずれかに記載の組換え体ワクチンを個体に対して投与する工程を含む、方法。

(項目 1 5)

I L - 1 5 R 又はその機能性断片をコードするヌクレオチド配列を含む、弱毒化生病原体。

(項目 1 6)

前記病原体が、慢性感染症を引き起こす病原体の弱毒株である項目 1 5 に記載の弱毒化生病原体。

(項目 1 7)

I L - 1 5 R をコードする核酸コード配列が S E Q I D N O : 1 の配列である項目 1 5 又は 1 6 に記載の弱毒化生病原体。

(項目 1 8)

I L - 1 5 又はその機能性断片をコードする核酸配列をさらに含む項目 1 5 乃至 1 7 のいずれかに記載の弱毒化生病原体。

(項目 1 9)

個体において免疫原に対する免疫応答を誘発する方法であって、
項目 1 5 乃至 1 8 のいずれかに記載の弱毒化生病原体を個体に対して投与する工程を含む、方法。

(項目 2 0)

S E Q I D N O : 1 の配列、又は I L - 1 5 R 免疫調節機能、I L - 1 5 結合機能、I L - 1 5 受容体複合体の他のサブユニットへの結合機能、もしくはそれらの組合せの機能を有するその断片を含む、核酸分子。